

6/18 10:14 受

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

8枚

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

		平成23年 6 月 18 日 (第340報) 発信時刻 9 時 45 分	
経済産業大臣、福島県知事、楳葉町長、宮岡町長 殿		通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏 連絡先 0240-25-4111(代) ()	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。			
原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分：電気事業) 福島県双葉郡楳葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23 年 3 月 14 日 21 時 58 分 16 日 0 時 00 分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (□する、■しない)	
	想定される原因	■特定 福島第一原子力発電所の影響 □調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 9 時 00 分)	被ばく者の状況 ■無 □有：被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 □有：	
	気象情報 (確認時刻 9 時 00 分)	天候 : (晴) V 風向 : 方位 190 V ※ 風速 : m/s 8.2 V ※ 大気安定度 : C V (10m)	
	周辺環境への影響	□無 □有： 調査中	
	応急措置	/	

※風速が 0.5m/s 未満の場合「CALM」(静穏)、この時の風向を「-」と表記する。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (6/18日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年8月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (6/18日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² g (MPa[gage])) 上昇・下降・安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	23.6 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	5750 mm SHC 燃料頂部から 9946 mm → 広域帯
外部電源	受電 有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電 有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力 →	6.0 (kg/cm ² g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 23 °C → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (6/18日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年9月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高: m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (6/18日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 ↘	0.02 (kg/cm ² g (MPa(gage))) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	24.5 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	5600 mm SHC 広域帯 燃料頂部から 9796 mm ↗
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) 無
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↗	6.2 (kg/cm ² g (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24.°C → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (6/18日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (6/18日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm ² g (MPa[gage])) 上昇・下降・ <input checked="" type="checkbox"/> 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	28.5 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	3950 mm SHC 燃料頂部から 8146 mm ↑ 広域帯
外部電源	受電 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常・ <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動・ <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
ECCSの作動・低圧系	作動・ <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入・ <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加・ <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉・ <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離・ <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 ↗	9.56 (kg/cm ² g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・ <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27 °C → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

4号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (6/18日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成28年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (6/18日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.07 (kg/cm ² g (MPa[gage])) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	28.0 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 ↗	4050 mm SHC 燃料頂部から 8246 mm ↗ 広域帯
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) 無
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 →	6 (kg/cm ² g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブプレッションプール水温度 28 °C → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(18日 9時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(18日 9時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻 (18日 8時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 2.5 cps, 2号機: 3.7 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 0.6 cps, 4号機: 4.7 cps
	Rw/B: 2.0 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	8時10分	1.6 ^v μSv/h	1.3 ^v μSv/h	1.8 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.4 ^v μSv/h	- ^v μSv/h
	8時20分	1.6 ^v μSv/h	1.3 ^v μSv/h	1.8 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.4 ^v μSv/h	- ^v μSv/h
	8時30分	1.6 ^v μSv/h	1.3 ^v μSv/h	1.8 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.4 ^v μSv/h	- ^v μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻 (18日 9時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 2.5 ^v ops, 2号機 : 3.6 ^v ops
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 9.7 ^v ops, 4号機 : 4.8 ^v ops
	Rw/B : 2.0 ^v ops

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	8時40分	1.6 ^v μSv/h	1.3 ^v μSv/h	1.8 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.4 ^v μSv/h	- μSv/h
	8時50分	1.6 ^v μSv/h	1.3 ^v μSv/h	1.8 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.4 ^v μSv/h	- μSv/h
	9時00分	1.6 ^v μSv/h	1.8 ^v μSv/h	1.8 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.5 ^v μSv/h	1.4 ^v μSv/h	1.0 ^v μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h		μSv/h		μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。